

# お稚児さんの着付け方

## 着 装 順 序

※衣装の着付け方(1~5)は、男・女とも同じです。

1. 食事・化粧・トイレを先に済ませます。
2. 『足袋 (又は白タビックス)』を履かせる。
3. 着物を着る。『伊達 (だて) 締め (または太めの綿の腰紐)』でしっかりと締める。
4. 袴 (はかま) を着せる。
  - ① 袴は子供が足を入れやすいように、開いて床におく。
  - ② 袴のすそが床から 15cm 位あがるように、袴を前から先に後ろの腰紐の上で結び、後ろ紐は前で、前ひだが広がらないように、紐の下 3cm くらいのところで結ぶ。
  - ③ ずれ落ちやすいので袴の後ろを前より高くする。紐でしっかりとくくる。
5. 上衣は袖を通し(振袖等、袖の長い場合は通さなくて良い)、前後を一緒に帯で締め、前で結ぶ。
6. ★ 男冠の結び方



- ① 「クボミ」が前です。形を変えないこと。「フトン」は使いません。
- ② 冠の取り付け位置は少し前(額側)に置いて子供に押さえてもらう。
- ③ 前の紫の紐を後ろの黒い紐に耳の下で通し、前(あご)でしっかりと結ぶ。

### ★★ 女冠の結び方

- ① 冠を安定させるため、頭の上で髪を少し束ねて結んでおくといよい。
- ② 冠の鳳凰を差し込む。
- ③ 前の輪になっている赤紐をあごにかける。
- ④ 後ろ紐は 8cm くらいのところで結び、両方を左右に分けて前にもってきて耳下のところであご紐に一、二度、からませて通し、後ろ(首の後ろ側)でしっかりと結ぶ。前(あご)で結んでもよい。
- ⑤ より安定させるためには、「フトン」を髪にピンで留めておく。
- ⑥ 斜めにかぶらず、まっすぐかぶると落ちにくい。



### 注意！！

1. 行列途中でずれ落ちることが多いですから、袴は短めに、しっかり紐で締めて下さい。
2. 衣裳着用中の飲食は、ご遠慮下さい。

## 高 山 八 幡 宮

生駒市高山町12679-1  
Tel・Fax (0743)78-1014

本殿重要文化財  
宮座行事意形民俗文化財

メール takayama-hachimangu@deluxe.ocn.ne.jp

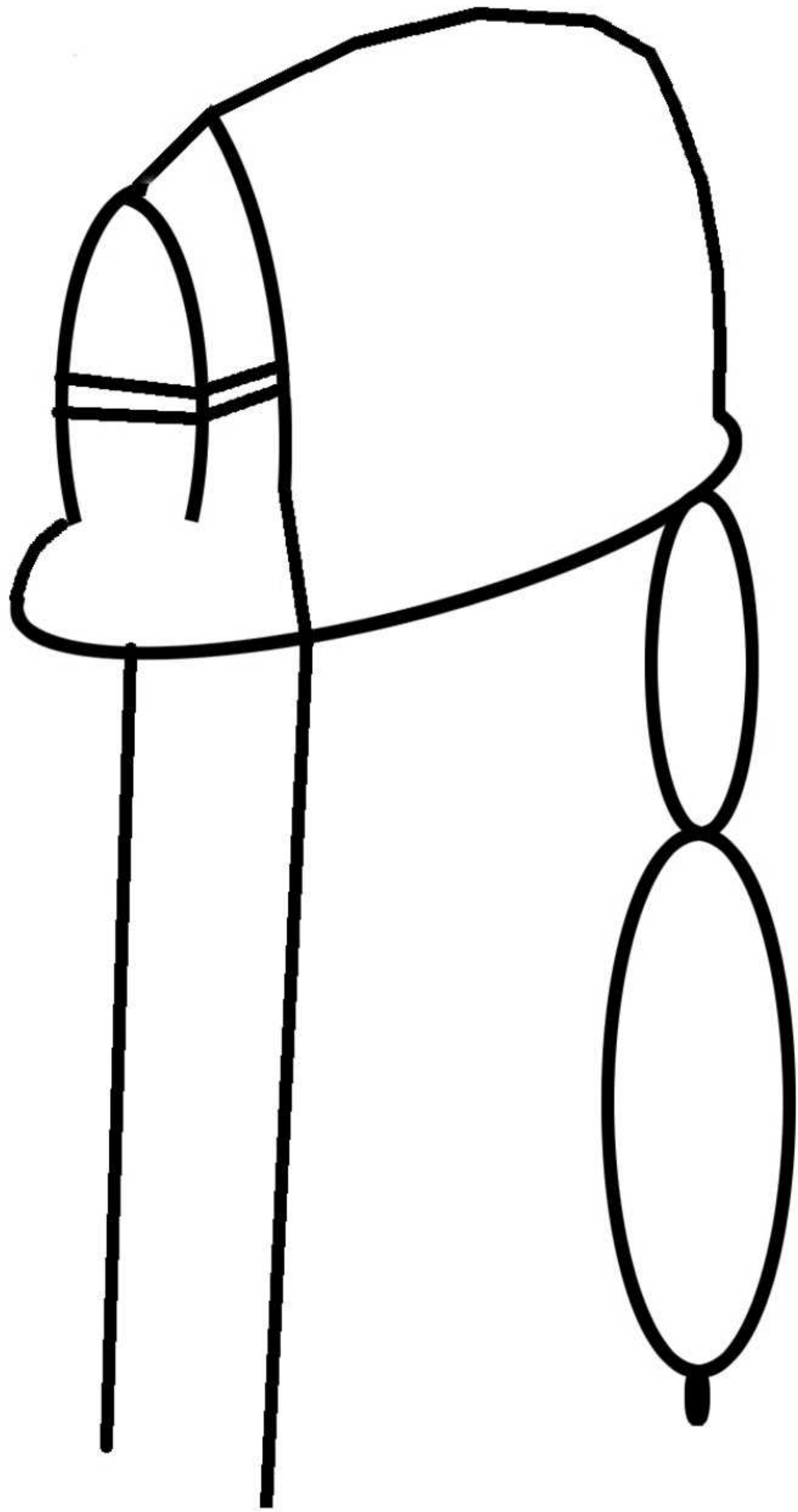
ホームページ <https://80000good.org>



# 紐の調整の仕方

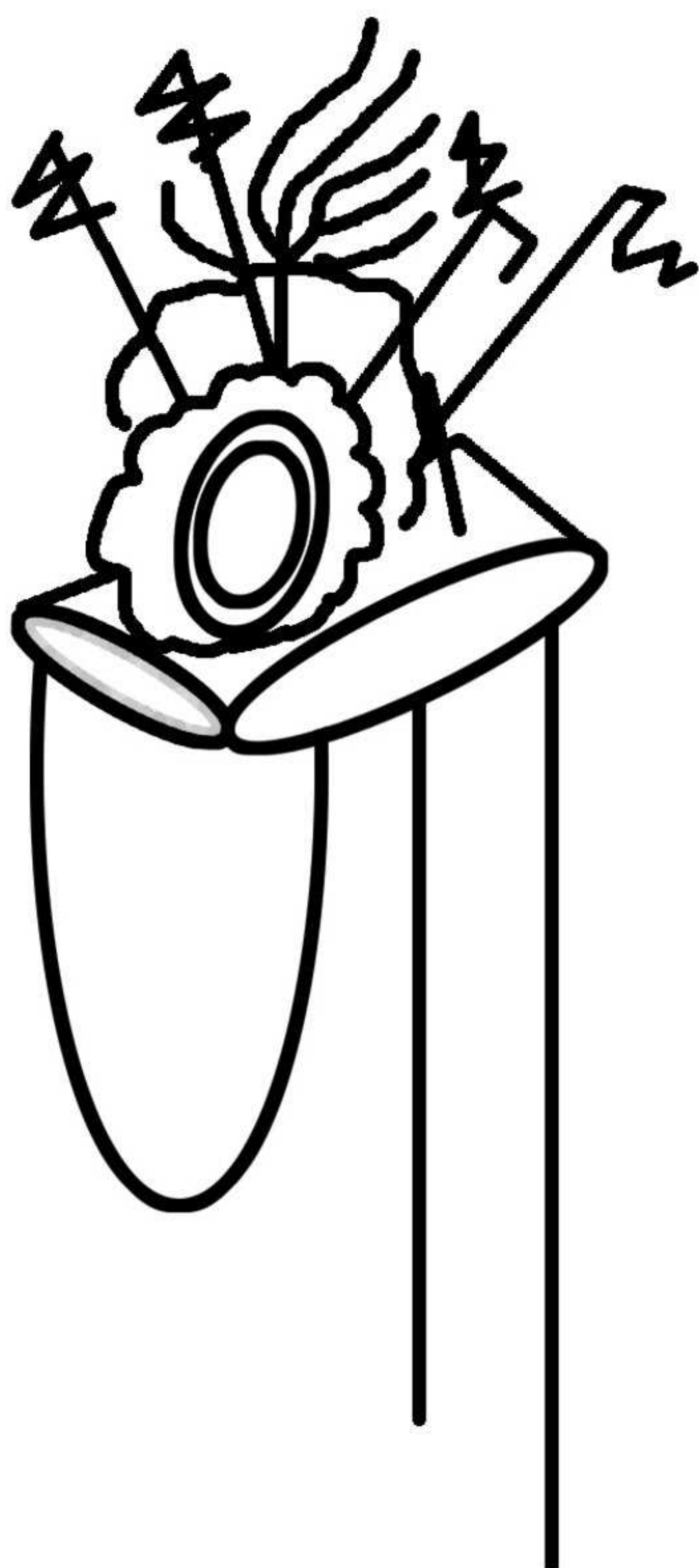
※先に「お稚児さんの着付け方」を読んで下さい

## ☆ 男冠



後ろ紐のこの部分を後で  
ほどこきやすいように結び、  
前紐とからませて三角を作り、  
三角の大きさを变えることで  
からんだ位置が上下にずれて  
調節ができ、冠が落ち着く。

## ☆ 女冠



後ろ紐を前紐にからませる  
位置を耳の上または耳の下に  
ずらして、冠の落ち着く所を  
探す。